

「生活アセスメント」の事例検討 県連SW部会が学習会を開催

11月9日(土)にSW部会で自主学習会を開催し、14名が参加しました。

今回は敬和学園大学の石坂誠先生をお招きし「生活アセスメント」での事例検討を行いました。

元ホームレスの方の、歴史的構造的に生活を捉え、社会は何をすべきだったのかを検討しました。

事例を通し、貧困が個人の責任ではなく社会の問題であることを学ぶことができました。



講師 石坂誠先生(敬和学園大学准教授)。長野民医連での勤務経験もありで、民医連の学習会講師としてもお世話になっています

